

## 社団法人日本心理学会平成 18 年度 4 月常務理事会 議事録

日 時 平成 18 年 4 月 8 日（土）11 時—16 時 30 分

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長，木村 裕，小嶋祥三，小川俊樹，岡市廣成，

高木 修各常務理事

（事務局長：久野洋子，事務局員：仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 織田正美（理事長）

### I. 議事録の確認

前々回，前回の常務理事会（2 月 25 日，3 月 11 日開催）の議事録を一部文言修正の上，確認した。

### II. 報告事項

#### 1. 事務報告

##### (1) 職員人事

小川総務担当常務理事より，常勤嘱託職員の採用にあたり，選考経過の報告があり，仮澤 亮氏を採用すること，およびその契約内容について説明があり，これを了承した。

##### (2) 会員異動（資料 1）

事務局長から，3 月 1 日—3 月 31 日の会員異動状況について，新入会員 99 名，退会者 184 名及び逝去者 2 名があり，3 月 31 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7015 名であるとの報告があった。

#### 2. 委員会報告

##### (1) 広報委員会（資料 2）

小嶋広報担当常務理事から，第 1 回広報委員会の議事録に基づき，広報委員会の役割分担が報告された。ホームページのコンテンツについては，4 月 15 日（土）開催の第 2 回委員会にて審議される。なお，“心理学ワールド”の記事をホームページに掲載する場合の著作権，ホームページのデザイン，個人情報の取り扱い，データベースの公開といった検討事項が残されている旨の報告があった。

## (2)心理学ワールド編集委員会（資料3）

織田理事長から，“心理学ワールド”35号の企画案について報告があり，了承された。

### 3. 理事長報告

理事長から，以下の報告があった。

(1) “心理学界の男女差別を撤廃する会”より，2006年3月11日付で再び要望書が送付され，(a)女性差別問題について学会としての基本方針，(b)理事会等における女性の増員について，数値目標をあげての努力，という2点に関しての要望があった。本件への回答を，理事長に一任することとした。

(2) 日本心理学会第72回大会を北海道大学で開催することについて，同大学の阿部純一教授より内諾を得た。

(3) 学会創立80周年記念式典・祝賀会について，IUPsyS会長・J. Bruce Overmier氏，中国心理学会会長・張侃氏より式典への出席を内諾する旨の回答があった。

(4) 2006年7月16日—21日にギリシャ・アテネで開催される国際応用心理学会議(ICAP)の会期中，20，21日にIUPsySのミーティングが行なわれる予定。アジェンダをみて，織田正美理事長・野口京子氏がdelegateとして出席する。

(5) 2006年4月8日（午後5時—8時），日本心理学諸学会連合との認定心理士資格認定事業移譲に関する3回目の協議が行われる。本協議では，日本心理学会より認定事業の業務内容について詳細な説明を行なう。

(6) 日本心理学諸学会連合の臨時理事会が，4月30日（日）に開催されることとなった。(a)国資格問題について，(b)心理学検定について，の2点について集中審議する予定である。

### 4. その他

木村認定担当常務理事より，認定心理士アンケートについて，現在7201件中701件の回答があったことが報告された。

## Ⅲ. 審議事項

### 1. 入会審査（資料5）

新規申請のあった61件のうち，正会員入会審査規程2(1)に該当する者59名の入会を一括承認し，残る2件について資料に基づき個別審査の結果，規程2(4)に該当すると判定した1名を入会可とし，残る1名を否とした。

## 2. 国際賞選考委員会委員選考の件（資料5）

小嶋国際担当常務理事から、配付資料に基づき標記の件につき説明がなされた。審議の結果、選考委員として、亀口憲治、唐沢 穰、子安増生、桑野園子、中島定彦、坂野雄二、山口真美、山口 勸の各氏に依頼することとなった。また、第1回委員会は5月に行なうこととなった。

## 3. 学会創立80周年記念式典・祝賀会のプログラム等の件（資料6）

織田理事長より、日本心理学会創立80周年記念式典・祝賀会プログラム(案)および招待者リスト(案)が提案された。審議の結果、招待者については、常務理事より、リスト外からも推薦を募ることとした。なお、講演を依頼するIUPsyS会長のJ. Bruce Overmier氏、中国心理学会会長の張侃氏への謝礼等について、小川総務担当常務理事と岡市財務担当常務理事で案を作り、常務理事会に諮ることとなった。

## 4. 公開講演会の件

理事長より、平成18年度の公開講演会について説明がなされた。審議の結果、理事長・小川総務担当常務理事で原案を作成することとなった。

## 5. 将来構想検討委員会の件

理事長より、配付資料に基づき将来構想検討委員会の検討事項とスケジュールについて説明がなされ、今後、小委員会を立ち上げていく案が示された。審議の結果、小川総務担当常務理事を中心に第1回将来構想検討委員会を早急に開催することとなった。

## 6. 青少年向け講座の件

小川総務担当常務理事より、標記の件につき説明がなされた。審議の結果、早急に第1回教育プロジェクト実行委員会を審査委員会と合同で開催することとした。

## 7. 日本心理学会第70回大会の件（学会主催シンポジウムについて）

小川総務担当常務理事より、日本心理学会第70回大会で行なうシンポジウムについて、日本心理学会主催のシンポジウムを3件、日本認定心理士会主催のシンポジウムと講演を各1件、行うことが説明された。審議の結果、シンポジウムの具体的な内容等については、次回常務理事会で審議することとした。

## 8. “株式会社国際文献印刷社”との契約の件

小川総務担当常務理事より、“株式会社国際文献印刷社”との契約書の損害賠償にかかわる部分についての報告があり、審議の結果、学会の顧問弁護士および公認会計士の助言を得ながら、総務財務委員会で慎重に対処していくこととなった。

## 9. 委員会委員委嘱の件

高木編集担当常務理事より、優秀論文賞選考委員会について、秋田喜代美氏から委員辞退の希望があった旨の報告があり、審議の結果、原田悦子氏に委員を委嘱することが承認された。

また小嶋広報担当常務理事より広報委員会の委員について、大会開催校からの担当として三浦佳世氏を委嘱すること、心理学ワールド編集委員会の担当として大木桃代氏に依頼することが提案され、審議の結果、承認された。

## 社団法人日本心理学会平成 18 年度 5 月常務理事会 議事録

日 時 平成 18 年 5 月 13 日 (土) 11 時—17 時 30 分

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長, 木村 裕, 小嶋祥三, 小川俊樹, 岡市廣成,  
高木 修各常務理事

齊藤栄太郎顧問公認会計士

(事務局長: 久野洋子, 事務局員: 仮澤 亮, 坂田須美子, 鈴木厚子)

議 長 織田正美 (理事長)

### I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (4 月 8 日開催) の議事録を一部文言修正の上, 確認した。

### II. 報告事項

#### 1. 処務報告

事務局長より, 公開シンポジウムに関する文部科学省の科学研究費補助金および“心理学研究”, “Japanese Psychological Research” に関する日本学術振興会科学研究費補助金 (研究成果公開促進費) の申請結果について報告がなされた。公開シンポジウムの申請は受理されなかったが, “心理学研究”, “Japanese Psychological Research” には補助金が出される。

#### 2. 事務報告

##### (1) 会員異動 (資料 1)

事務局長より, 4 月 1 日—4 月 30 日の会員異動状況について, 新入会員 108 名, 退会者 22 名及び逝去者 1 名があり, 4 月 30 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7079 名であるとの報告があった。

#### 3. 委員会報告

##### (1) 編集委員会 (資料 2)

高木編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 5 月 7 日開催の編集委員会について,

論文審査状況，機関誌編集状況，心理学モノグラフ審査状況について報告がなされた。

なお“心理学研究”英文アブストラクトの校閲について，外部への委託を検討することとし，次回以降の常務理事会に委託候補先の会社の情報を提出し審議することとした。

#### (2)認定委員会（資料3）

木村認定担当常務理事（委員会委員長）より，4月22日開催の認定基準検討ワーキンググループおよび認定委員会の報告がなされた。認定委員会については，申請のあった556件のうち，530件を合格，13件を保留，13件を不合格としたこと，および12校よりカリキュラム検討の依頼があったことが説明された。

#### (3)優秀論文賞選考委員会（資料4）

高木編集担当常務理事より，5月7日開催の優秀論文賞選考委員会について，審査手続きを確認したのち，基準を満たした24論文について，審査担当の委員を決定し，優秀論文賞選考委員から推薦する論文がこれ以外であれば追加すること（担当委員の人選は委員長一任）になった旨の報告があった。

#### (4)広報委員会（資料5）

小嶋広報担当常務理事（委員会委員長）より，4月15日開催の広報委員会について，ホームページのコンテンツの概要について報告がなされた。なおホームページの作業についてアルバイトの雇用，およびコンテンツの執筆者への原稿料の支払いが提案され，了承された。

#### (5)将来構想検討委員会（資料6）

小川総務担当常務理事より，5月7日開催の将来構想検討委員会について報告があり，将来構想検討委員会のもとに下記の専門委員会を設置することが提案了承された。また各専門委員会の委員長を下記の各氏に依頼することとした。

新規事業専門委員会：安藤清志

組織改革専門委員会：田島信元

職能問題専門委員会：大淵憲一

教育研究専門委員会：菊地 正

#### (6)総務・財務諮問委員会（資料7）

小川総務担当常務理事より，4月25日開催の総務・財務諮問委員会について報告があった。また斎藤顧問公認会計士より2005年度の決算報告がなされた。

#### 4. 理事長報告

理事長より、以下のことについて報告がなされた。

(1) 日本心理学諸学会連合臨時理事会について

4月30日開催の日本心理学諸学会連合臨時理事会について、心理学検定の予算案・事業計画案・規程案および国資格問題に関して審議がなされたことが報告された。国資格問題について、“臨床心理士及び医療心理師法案”に関して次のことが議決されたことが説明された。(a)法案が今年度国会に上程された場合、次の条件付で法案を支持する。その条件とは、本法案が、日心連が制定を目指す包括的国資格制度にいたるための一過程となること、および法案制定後、カリキュラム検討にあたり日心連から適切な人数の委員を出しうること、そして新制度の管理・運営にあたり日心連から適切な人数の委員を出しうること、の3点である。(b)法案が今年度国会に上程されなかった場合、1年後を目処に包括的国資格制度をまとめ、新法案に反映されるよう最善を尽す。

(2) 医療心理師国家資格制度推進協議会について

5月28日に開催される医療心理師国家資格制度推進協議会総会において、役員交代がなされることが報告された。

(3) 認定心理士資格認定事業の移譲に係る協議について

4月8日に開催された日本心理学諸学会連合との認定心理士資格認定事業の移譲に係る協議について、報告がなされた。移譲に関しての日本心理学会の方針を、今後の常務理事会で検討していく。

### Ⅲ. 審議事項

#### 1. 入会審査（資料8）

新規申請のあった67件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者59名の入会を一括承認し、残る8件について資料に基づき個別審査の結果、規程2(1)に該当すると判断した2名、規程2(4)に該当すると判定した6名を入会可とした。

#### 2. 学会創立80周年記念式典・祝賀会のプログラムの件（資料9）

理事長より、配付資料に基づき説明があり、日本心理学会創立80周年記念式典・祝賀会のプログラムについて確認がなされた。審議の結果、記念式典・祝賀会をⅠ部とⅡ部に分け、記念講演をⅠ部として日本心理学会会員・日本認定心理士会会員に先着順で

公開することとし、日本心理学会からの招待者用の座席は別途設けることとした。そして、Ⅱ部に記念式典とパーティを充てることとした。

### 3. 広報委員会常置化の件

小嶋広報担当常務理事（委員会委員長）より、標記の件につき説明がなされた。審議の結果、心理学ワールド編集委員会および将来構想検討委員会の常置化の件とともに、11月開催の理事会に諮ることとした。

### 4. 将来構想検討委員会規程の件（資料席上配付）

小川総務担当常務理事より、将来構想検討委員会規程(案)について説明がなされた。審議の結果、一部修正の上これを承認し、次回の理事会に諮ることとした。

### 5. 名誉会員候補者推薦の件（資料10）

織田理事長より、配付資料に基づき6名の名誉会員候補者について説明があり、審議の結果、名誉会員推薦規程に基づき、6名を名誉会員として推薦することとし、事務局から打診することとした。

### 6. 終身会員承認の件（資料11）

理事長より、配付資料に基づき8名の終身会員候補者について説明があり、審議の結果、定款第5条(5)に基づき8名を終身会員として承認することとした。

### 7. 公開シンポジウム（7月30日、科学技術館サイエンスホール）企画の件（資料12）

理事長より公開シンポジウムについて説明がなされた。審議の結果、シンポジウムの議題および演者については、理事長・小川総務担当常務理事に一任することとした。また、ポスターのデザインを決定した。

### 8. ICAP 会期中の IUPsyS Meeting（2006年7月20日、21日）の件（資料席上回覧）

理事長より、2006年7月16日～21日にギリシャ・アテネで開催される国際応用心理学会議（ICAP）の会期中に行なわれる IUPsyS Meeting の議案について説明がなされた。審議の結果、日本心理学会からの delegate は、織田正美理事長・野口京子氏が務めることを確認した。

### 9. 日本心理学会第70回大会（於九州大学）の件

#### (1) 大規模収容のシンポジウム企画等の件

理事長より、第70回大会における日本心理学会主催シンポジウムの1つである、大規模収容の会場を使用するシンポジウムについて説明がなされた。審議の結果、この



シンポジウムの内容については、次回常務理事会までに原案を作成することとした。

10. 事務局員の役割分担の件（資料 13）

理事長より標記の件につき説明があり、高木編集担当常務理事より編集委員会関連の業務に関する配付資料の説明がなされた。審議の結果、総会後に事務局員の役割分担を再検討していくこととした。

11. 理事会・総会（6月3日）の議案等の件（資料 14）

理事長より、配付資料に基づき6月3日に開催される理事会・総会の議案について説明がなされた。審議の結果、理事会・総会への提出議案を一部修正した。また、第11回総会での定款改正によって細則の文言が一部修正されるため、細則改正を議案とすることとした。

## 社団法人日本心理学会平成 18 年度 6 月常務理事会 議事録

日 時 平成 18 年 6 月 4 日（土）11 時－15 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長，木村 裕，小嶋祥三，小川俊樹，岡市廣成，  
高木 修各常務理事

（事務局長：久野洋子，事務局員：仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 織田正美（理事長）

### I. 議事録の確認

議事に先立ち，前回の常務理事会（5 月 13 日開催）の議事録を一部文言修正の上，確認した。

### II. 報告事項

#### 1. 事務報告

##### (1) 会員異動（資料 1）

久野事務局長より，5 月 1 日－5 月 31 日の会員異動状況について，新入会員 37 名および退会者 6 名があり，5 月 31 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7110 名であるとの報告があった。

#### 2. 委員会報告

##### (1) 認定心理士資格認定委員会（資料 2）

木村認定担当常務理事（委員会委員長）より，5 月 20 日開催の認定委員会の報告がなされた。申請のあった 524 件のうち，511 件を合格，10 件を保留，3 件を不合格としたこと，および 3 校よりカリキュラム検討の依頼があったことが説明された。

##### (2) 優秀論文賞選考委員会

高木編集担当常務理事より優秀論文賞選考委員会について，5 月 7 日開催の委員会で選考対象とすることを決定した 24 論文の他に優秀論文賞選考委員からの追加推薦はなく，審査論文を 24 論文に確定したことが報告された。

##### (3) 国際賞選考委員会（資料 3）

小嶋国際担当常務理事より，5 月 22 日開催の第 1 回国際賞選考委員会について説明がなされ，選考の具体的な手順および日程を審議・決定したことが報告された。

#### (4)教育プロジェクト委員会（資料4）

小川総務担当常務理事より、5月7日開催の第1回小・中・高校生のための教育プロジェクト委員会について報告がなされた。なお本委員会について、規程がないこと、および委員の任期が決められていないことが指摘された。

### 3. 理事長報告

織田理事長より、以下のことについて報告がなされた。

#### (1)医療心理師国家資格制度推進協議会

5月28日に開催された医療心理師国家資格制度推進協議会第2回総会について、下記のような人事体制の強化と役員の交代がなされたことが報告された。

会長 織田正美（社団法人日本心理学会理事長）

副会長 宮脇 稔（全心協会長・精神障害者社会復帰施設アンダンテ施設長）

日本精神科病院協会より1名

事務局長 藤本 豊（全心協・東京都立中部総合精神保健福祉センター）

事務局次長 松野俊夫（全心協副会長・日本大学板橋病院心療内科）

#### (2)日本心理学会創立80周年記念式典・祝賀会

日本心理学会創立80周年記念式典について、下記のことを決定したことが報告された。

(a)第2部の記念式典招待者に対して、第1次案内を7月末に、第2次案内を8月末に送付する。

(b)第1部の記念講演について、講演を予定している Bruce Overmier 氏 (IUPsyS 会長)・張 侃氏 (中国心理学会会長) に対する諸条件を検討した。なお、講演内容を抄録の形で“心理学研究”もしくは“Japanese Psychological Research”に掲載することについて、編集委員会で審議することとなった。

#### (3)日本心理学諸学会連合

日本心理学諸学会連合常務理事会より、5月30日付文書にて、資格制度検討委員会ワーキンググループ委員推薦の依頼があったことが報告された。木村常務理事・小川常務理事により候補者を選出し、メールで常務理事に回し推薦者を決定することとした。

#### 4. その他

##### (1) 日本心理学会第 70 回大会（於九州大学）（資料 5）

小川総務担当常務理事より、2006 年 11 月 3 日—5 日に開催される日本心理学会第 70 回大会（於九州大学）について、大会発表の申込件数が報告された。特別招待講演が 5 件、シンポジウムが 21 件、認定心理士シンポおよび講演が 2 件、小講演が 31 件、ワークショップが 119 件、ポスター発表が 1,574 件であった。

### III. 審議事項

#### 1. 入会審査（資料 6）

新規申請のあった 32 件のうち、正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 30 名の入会を一括承認し、残る 2 件について資料に基づき個別審査の結果、規程 2(4)に該当すると判断した 2 名を入会可とした。

#### 2. 理事会・総会への提出議案等と役割分担の件

織田理事長より標記の件につき説明があり、総会・理事会の議案・報告事項について内容と常務理事の役割分担の確認をした。

#### 3. 国際賞選考細則の件（資料 7）

小嶋国際担当常務理事より国際賞選考細則(案)について説明がなされた。審議の結果、一部追加・修正のうえ、これを承認した。

#### 4. 名誉会員の推薦に関する件（資料 8）

織田理事長より、前回常務理事会において名誉会員推薦候補者となった 6 名について、推薦の内諾が得られたことが報告され、6 名を名誉会員として理事会・総会へ推薦することとした。

#### 5. 選挙日程の件（資料 9）

織田理事長より、配布資料に基づき標記の件について説明がなされた。審議の結果、今年度の代議員・理事・監事選挙の公示を会員に文書にて送付することとした。具体的な選挙日程については、次回常務理事会にて審議することとした。

#### 6. 公開シンポジウムの件（資料席上配布）

小川総務担当常務理事より、7 月 30 日に開催される公開シンポジウムのテーマ・講演者の案が示され、これを了承した。

#### 7. 国際文献印刷社との契約の件（資料 10）

小川総務担当常務理事より、国際文献印刷社との契約に関する経過報告がなされた。審議の結果、損害賠償請求に関する第 33 条第 1 項を「原則として、乙は第 20 条第 3 項所定の累積総額を限度として甲の損害賠償額又はこれに相当する合理的費用を甲に支払う。限度額を超える損害賠償額については、別途、協議するものとする。」とすることを基本線とし、詳しくは織田理事長および小川総務担当常務理事の話し合いで対応を検討することとした。

#### 8. “心理学研究” 英文アブストラクト校閲外部委託の件

高木編集担当常務理事より、“心理学研究” 英文アブストラクトの校閲を外部に委託する件について、委託候補となる会社の情報が報告された。審議の結果、試験的に委託候補である“Text エディティングサービス”と“(株) Zenis”に校閲を依頼することとした。

#### 9. 協賛依頼

久野事務局長より、日本知能情報ファジィ学会より“第 22 回ファジィシステムシンポジウム in 札幌”の、またカラーフォーラム JAPAN 事務局より“カラーフォーラム JAPAN 2006”の協賛依頼があったことが説明され、審議の結果これを承認した。

#### 10. 調査等回答依頼

久野事務局長より、日本学術会議より“‘科学者の行動規範’等に関する調査”への回答依頼が、また文部科学省科学技術政策研究所より“科学技術の状況に係る総合的意識調査(定点調査)分野別調査”への回答候補者の推薦依頼があったことが説明された。審議の結果、回答は小川総務担当常務理事に一任することとした。

## 社団法人日本心理学会 平成 18 年度 7 月常務理事会 議事録

日 時 平成 18 年 7 月 15 日 (土) 13 時 30 分－18 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長，木村 裕，小嶋祥三，小川俊樹，岡市廣成，  
高木 修各常務理事

大山 正，山本多喜司各名誉会員，箱田裕司第 70 回大会委員長

(事務局長：久野洋子，事務局員：仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子)

議 長 織田正美 (理事長)

### I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (6 月 4 日開催) の議事録を一部文言修正の上，確認した。

### II. 報告事項

#### 1. 処務報告

##### (1) 文部科学省への回答

久野事務局長より，2006 年 2 月 2 日に行われた文部科学省研究振興局研究助成課の  
実地検査に対する回答が報告された。回答は，8 月末日までに文部科学省に届けること  
が説明された。

#### 2. 事務報告

##### (1) 会員異動

久野事務局長より，6 月 1 日－6 月 30 日の会員異動状況について，新入会員 53 名，  
退会者 3 名および逝去者 3 名があり，6 月 30 日現在の会員数(賛助会員を除く)は 7157  
名であるとの報告があった。

#### 3. 委員会報告

##### (1) 機関誌等編集委員会

高木編集担当常務理事 (委員会委員長) より，7 月 1 日開催の編集委員会について，  
論文審査状況，機関誌編集状況，心理学モノグラフの審査状況，および“Japanese  
Psychological Research”への投稿論文に関する審査異議申し立て、そして審査の遅延に  
関する抗議に対しての各回答等が報告された。次いで 6 月 12 日開催の編集電子化 WG  
について報告がなされ、「編集電子化」システムについて WG からの報告があり，今後  
業者の選定に当たっては，相見積もり等を取り，総務・財務委員会において検討してい  
くこととなった。また“心理学研究”“Japanese Psychological Research”の著作権お  
よび掲載論文のウェブ公開について報告がなされた。

## (2)認定心理士資格認定委員会

木村認定担当常務理事（委員会委員長）より、6月17日に開催された認定委員会の報告がなされた。申請のあった612件のうち、587件を合格、15件を保留、10件を不合格としたこと、および6校よりカリキュラム検討の依頼があったことが説明された。次に6月18日開催の認定基準検討WGによる認定心理士資格申請の手引き改定の審議状況について報告がなされた。改定については、11月に開催される次回理事会での審議に諮ることを目標として検討を進めることが提案され、これを了承した。

## (3)優秀論文賞選考委員会

高木編集担当常務理事より7月1日開催の優秀論文賞選考委員会について、審査状況が報告された。

## (4)心理学ワールド編集委員会

織田理事長より7月8日開催の心理学ワールド編集委員会について、“心理学ワールド”36号の企画案について報告された。

## (5)国際賞選考委員会

小嶋国際担当常務理事（委員会座長）より7月1日開催の国際賞選考委員会について報告があり、国際賞功労賞・奨励賞の応募要項・申請書式を作成しホームページに掲載したことが説明された。また“心理学ワールド”34号に国際賞の広告を掲載したことが報告された。

## (6)総務・財務委員会

岡市財務担当常務理事より、職員の夏季賞与について説明があり、稟議書に基づき審議・決定したことが報告された。また“Japanese Psychological Research”の販売価格について、従来どおりの価格としたことが報告された。

## 4. 理事長報告

織田理事長より、以下のことについて報告がなされた。

### (1)医療心理師国家資格制度推進協議会

医療心理師国家資格制度推進協議会の副会長として、日本精神科病院協会副会長の谷野亮爾氏が就任したことが報告された。

## (2)日本心理学諸学会連合

6月11日開催の日本心理学諸学会連合（以下日心連）理事会において、心理学検定の事業計画・規定および運営資金の調達と返済に関する細則・予算案が大枠で承認されたことが報告された。また日心連より心理学検定事業に加盟するかどうかについて問い合わせがあったことが説明された。これについては、すでに常務理事会で審議決定されているように、事業計画・規定・予算案が日心連理事会で承認されたことにより、社団法人日本心理学会は心理学検定事業に加盟し、日心連に対して分担金・協力金・特別協力を貸与することを確認した。

## (3)日本認定心理士会評議員会・理事会・講演会

7月22日に日本認定心理士会評議員会・理事会・講演会を開催することが報告された。

## III. 審議事項

### 1. 入会審査

新規申請のあった63件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者55名の入会を一括承認し、残る8件について資料に基づき個別審査の結果、規程2(1)に該当すると判断した2名、2(3)に該当すると判断した4名を入会可とし、1名を否、1名を保留とした。

### 2. 代議員・役員の選挙日程の件

次期の代議員・役員の選挙について、織田理事長より選挙管理委員会規程の説明があり、選挙管理委員会を発足させることを確認した。また選挙管理委員会規程第2条(1)に定められている、名誉会員からの理事長指名の委員について、大村政男氏・大山正氏・山本多喜司氏が指名され、これを承認した。

次に小川総務担当常務理事より選挙日程(案)の説明があり、一部修正の上これを承認した。

### 3. 学会創立80周年記念講演・式典の件

織田理事長より、J. Bruce Overmier氏（IUPsyS会長）・張侃氏（中国心理学会会長）に対して学会創立80周年記念式典における記念講演を正式に依頼し、快諾を得たことが報告された。また日本心理学会会員・認定心理士等に送付する案内状とポスターの概要および招待者住所録の作成等について審議し、これを了承した。



#### 4. 公開シンポジウム・講演会の件

小川総務担当常務理事より、今年度の公開シンポジウム・講演会の開催回数について、80周年記念式典にて記念講演が行われることから、計2件とすることが提案され、これを承認した。第1回は7月30日(土)、第2回は11月頃の開催を予定している。

#### 5. 研究集会等助成の件

小川総務担当常務理事より、研究集会への助成金申し込みがあったことが説明された。審査については、研究集会等助成審査委員会で行うことを確認した。

#### 6. 株式会社国際文献印刷社との契約書の件

小川総務担当常務理事より、国際文献印刷社との契約における損害賠償請求に関する条項について原案が示され、これを承認した。

#### 7. 九州大会の件

箱田裕司日本心理学会第70回大会委員長より、大会の日程や発表申込件数に関する説明がなされた。日程・シンポジウムの会場等について審議し、これを承認した。

#### 8. 九州大会1,000人シンポジウムの件

織田理事長より、日本心理学会第70回大会において心理職の国資格問題に関する日本心理学会と日本心理学諸学会連合との共催による大規模シンポジウムを開催することが説明された。審議の結果、シンポジウムの企画および司会を小川・高木常務理事が行うこととした。

#### 9. 倫理委員会の件

岡市倫理担当常務理事(委員会委員長)より、倫理委員会の現委員の任期が切れることが説明された。審議の結果、次回常務理事会にて委員候補者を推薦することとした。

#### 10. 広報委員会の件

小嶋広報担当常務理事より、ホームページの文案作成の作業のためにアルバイトを雇うこと、またホームページに掲載される原稿に原稿料を支払うことが説明された。審議の結果、アルバイト費及び原稿料については、小嶋常務理事と岡市財務担当常務理事とで検討することとした。

#### 11. 認定心理士アンケート調査データの取り扱いの件

木村認定担当常務理事より、認定心理士に対して行ったアンケート調査(4月10日締切)のデータについて、木村常務理事の管理下でアルバイトを雇って入力作業を行うことが提案され、了承された。

## 12. “執筆・投稿の手びき”の件

小川総務担当常務理事より，“執筆・投稿の手びき”の校正について経過報告がなされた。審議の結果，訂正された手びきを至急ホームページに掲載することとした。また“執筆・投稿の手びき”の改良版は8月初旬までに発行することとなった。

## 13. 協賛・共催依頼の件

久野事務局長より，下記の3件の協賛依頼・共催依頼があったことが報告され，これを承認した。

### (1)2007IEEE/ICME 複合医工学国際会議 協賛依頼

(実行委員長 福山秀直 (京都大学)・呉 景龍 (香川大学))

### (2)計量心理学会国際大会 共催依頼 (組織委員長 繁榊算男 (東京大学))

### (3)第8回日本感性工学会 協賛依頼

(会長 原田 昭 (筑波大学)・大会実行委員長 長沢伸也 (早稲田大学ビジネススクール))

## 14. 事務局体制の見直しと分室設置の件

織田理事長より，認定心理士資格認定業務の拡大に伴い，現在の事務局では作業状況が捗々しくないことが説明され，事務局分室を設置することが提案された。審議の結果これを承認し，また同時に事務局体制（人事配置）の見直しを検討することとなった。

## 社団法人日本心理学会平成 18 年度 8 月常務理事会 議事録

日 時 平成 18 年 8 月 26 日（土）13 時－18 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長，木村 裕，小嶋祥三，小川俊樹，岡市廣成，  
高木 修各常務理事

（事務局長：久野洋子，事務局員：仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 織田正美（理事長）

### I. 議事録の確認

前回の常務理事会（7 月 15 日開催）の議事録を一部修正の上，確認した。

### II. 報告事項

#### 1. 事務報告

##### (1) 会員異動

事務局長より，7 月 1 日－7 月 31 日の会員異動状況について，新入会員 36 名，退会者 9 名および逝去者 6 名があり，7 月 31 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7178 名であるとの報告があった。

#### 2. 委員会報告

##### (1) 認定心理士資格認定委員会

木村認定担当常務理事（委員会委員長）より，8 月 19 日に開催された認定委員会の報告がなされた。申請のあった 508 件のうち，461 件を合格，23 件を保留，24 件を不合格としたこと，および 20 校よりカリキュラム検討の依頼があったことが説明された。次に 7 月 22 日および 8 月 14 日開催の認定基準検討ワーキンググループによる“認定心理士資格申請の手引き”改訂について報告があり，手引きの改訂案が提出された。改訂案については，主な改訂部分の説明がなされた。

##### (2) 国際委員会

小嶋国際担当常務理事（委員会委員長）より，2008 年にベルリンで開催される国際心理科学連合（IUPsyS）に 11 件の講演・シンポジウムを推薦した件について，3 件が採択・招待となったことが報告された。なお，参加者への旅費等の補助について，次回以降の常務理事会で検討することとなった。

### (3) 広報委員会

小嶋広報担当常務理事（委員会委員長）より 8 月 7 日開催の広報委員会について、ホームページ作成の進捗状況と今後の予定に関する説明がなされた。また、ホームページリニューアルの予定日は 10 月 1 日としたことが報告された。

### (4) 国際賞選考委員会

小嶋国際担当常務理事（委員会座長）より 8 月 5 日開催の国際賞選考委員会について、国際賞功労賞授賞者を推薦のあった本明寛氏・成瀬悟策氏に決定したこと、および奨励賞について 13 名の応募があり、それぞれの審査者を決定したことが報告された。

### (5) 総務・財務委員会

小川総務担当常務理事より、8 月 26 日開催の総務・財務委員会について報告がなされた。また常務理事の通信連絡経費節減のため、公務用の携帯電話を支給することとした。同様に、事務局用として 2 台の携帯電話を設置することとした。

## 3. 理事長報告

織田理事長より、以下のことについて報告がなされた。

### (1) 心理職の国資格化について

医療心理師国家資格制度推進協議会の新体制について資料が提出され、役員と幹事団体を含む構成団体について説明された。また 8 月 30 日に幹事団体による会議が行われることが報告された。

### (2) 文部科学省訪問（8 月 25 日）について

8 月 25 日に理事長・事務局長が文部科学省を訪問し、2006 年 2 月 2 日に行われた文部科学省研究振興局研究助成課の現地検査に対する回答書を提出したことが報告された。また 10 月 1 日に開催される創立 80 周年記念式典に、文部科学省担当官を招待したことが報告された。

### (3) 日本認定心理士会評議員会・理事会・講演会（7 月 22 日）について

7 月 22 日に開催された日本認定心理士会評議員会・理事会・講演会（会場・主婦会館プラザエフ）について報告がなされた。

#### 4. その他

##### (1) 編集電子化システムについて

高木編集担当常務理事より、編集電子化システム構築の依頼先となる候補三社による見積もりについて説明がなされた。依頼先の選定については、見積もりを基に総務・財務委員会で検討し原案を作成し、常務理事会に諮ることが確認された。

### Ⅲ. 審議事項

#### 1. 入会審査

新規申請のあった 18 件のうち、正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 14 名の入会を一括承認し、残る 4 件について資料に基づき個別審査の結果、規程 2(2)に該当すると判断した 1 名、2(4)に該当すると判断した 2 名を入会可とし、1 名を否とした。

#### 2. 学会創立 80 周年記念講演・式典の件

織田理事長より学会創立 80 周年記念講演・式典の準備状況について説明がなされた。また現時点での講演・式典の申し込み状況が報告され、審議の結果、役員・代議員・委員会委員に再度、式典の案内を送ることとした。

#### 3. 第 70 回大会 1000 人シンポジウムの件

高木常務理事より、日本心理学会第 70 回大会にて行われるシンポジウム“心理学界が目指すべき資格制度のあり方——心理職の国資格化をめぐる——”(日本心理学会・日本心理学諸学会連合共催)の企画案について説明がなされ、一部修正の上、これを承認した。

#### 4. “認定心理士資格申請の手引き”改訂の件

木村認定担当常務理事(委員会委員長)より、“認定心理士資格申請の手引き”の改訂案について、改訂部分の説明がなされた。主な改訂は、審査料および認定料の費用割引に関する点と、審査基準に関する点であるが、これらはそれぞれ別個に取り扱うこととした。費用については、総務・財務委員会で検討し、次回常務理事会に諮ることとした。また審査基準については継続審議とし、内容について意見等があれば、事務局に申し出ることとした。

#### 5. 校閲業者の決定について

高木編集担当常務理事より，“心理学研究”英文アブストラクトの校閲を外部に委託する件について，試験的に二社に校閲を依頼した結果が報告された。報告をもとに，“TextEditing サービス”に校閲を依頼することが提案され，これを了承した。

#### 6. 協賛・寄付依頼の件

久野事務局長より，下記の2件の協賛依頼があったことが報告され，これを承認した。

##### (1) 神作博先生講演会 協賛依頼

(主催：早稲田大学人間総合研究センター)

##### (2) 第18回国際生気象学会議 協賛依頼

(大会長：入來正躬 (山梨大学名誉教授))

## 社団法人日本心理学会平成 18 年度 9 月常務理事会 議事録

日 時 平成 18 年 9 月 23 日(土)13 時－18 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長, 木村 裕, 小嶋祥三, 小川俊樹, 岡市廣成,

高木 修各常務理事

(事務局長:久野洋子, 事務局員:仮澤 亮, 坂田須美子, 鈴木厚子)

議 長 織田正美(理事長)

### I. 議事録の確認

前回の常務理事会(8 月 26 日開催)の議事録を一部修正の上, 確認した。

### II. 報告事項

#### 1. 事務報告

##### (1)会員異動

事務局長より, 8 月 1 日－8 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員 23 名があり, 8 月 31 日現在の会員数(賛助会員を除く)は 7201 名であるとの報告があった。

#### 2. 委員会報告

##### (1)編集委員会

高木編集担当常務理事(委員会委員長)より, 9 月 2 日開催の編集委員会について, 論文審査状況, 機関誌編集状況, 心理学モノグラフ審査状況について報告がなされた。

##### (2)優秀論文賞選考委員会

高木編集担当常務理事より, 9 月 2 日開催の優秀論文賞選考委員会において, 本年度の優秀論文賞授賞論文として 6 論文(授賞者 17 名)を選考したことが報告された。

##### (3)心理学ワールド編集委員会

織田理事長より, 心理学ワールド 36 号(2007 年 1 月発行予定)について説明がなされた。

#### (4)国際賞選考委員会

小嶋国際担当常務理事(委員会座長)より、8月28日開催の国際賞選考委員会について、国際賞奨励賞授賞者として4名を選考したことが報告された。なお、次年度以降の国際賞選考について、審査基準を明確にし、候補者の募集に際して事前に基準を公開しておいたほうがよい、との意見が出された。

### 3. 理事長報告

織田理事長より、以下のことについて報告がなされた。

#### (1)日本心理学諸学会連合

日本心理学諸学会連合において国資格について検討するため、“資格制度検討委員会ワーキンググループ”(委員長松原達哉)を発足したことが報告された。なお、委員会委員長は松原達哉氏が務め、日本心理学会からは、木村常務理事が委員として出席していることが説明された。また常任理事会では心理学検定について審議が進められており、検定資金が集まりつつあることが報告された。

#### (2)心理職の国資格化について

医療心理師国家資格制度推進協議会の幹事団体による会議が行われ、状況分析と今後の方針について意見交換がなされたことが報告された。

#### (3)第70回大会認定心理士プログラム

日本心理学会第70回大会にて行われる、日本認定心理士会企画プログラムについて説明がなされた。

## III. 審議事項

### 1. 入会審査

新規申請のあった8件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者5名の入会を一括承認し、残る3件について資料に基づき個別審査の結果、規程2(1)に該当すると判断した1名、2(4)に該当すると判断した2名を入会可とした。

### 2. 学会創立80周年記念講演・式典(国際賞授賞式、当日の役割分担)の件

織田理事長より、10月1日に開催される創立80周年記念講演・式典の準備状況について報告がなされた。また、小川総務担当常務理事より式典の流れについて説明が、小嶋国際担当常務理事より国際賞授与式の次第の説明があり、式典での役割分担等を決定した。



### 3. 第 70 回大会(1000 人シンポジウム, 会員集会)の件

織田理事長より, 日本心理学会第 70 回大会, 特にシンポジウム“心理学界が目指すべき資格制度のあり方——心理職の国資格化をめぐる——”の準備状況について説明がなされた。また, 小川総務担当常務理事より会員集会の次第について説明があり, 会員集会のスケジュール等について審議・決定した。

### 4. 認定心理士資格申請の手引き改訂の件

木村認定担当常務理事より, “日本心理学会認定心理士資格申請の手引き”の改訂および関連諸規則・規程・細則等の改訂(案)等について説明がなされ, 継続審議となった。

### 5. 認定心理士資格認定事業移譲の件

織田理事長より標記の件につき説明がなされ, 継続審議となった。なお, 12 月に開催される日本心理学諸学会連合理事会において, 日本心理学会としての移譲問題に関する方針を示すべきである, という意見が出された。

### 6. 理事会議題(2006 年 11 月 2 日)の件

織田理事長より標記の件につき説明がなされ, 次回理事会の議題について審議・決定した。

### 7. 国際学会参加者への旅費支給の件

小嶋国際担当常務理事より, 国際学会に参加する学会員に対する旅費支給の方針案について説明がなされた。審議の結果, 旅費支給に関する規程案を作成し, 次回以降の常務理事会にて審議することとなった。

### 8. 転載許諾依頼の件

(1)学会員の大沼進氏より願出のあった下記 2 論文を, 大沼進著“人はどのような環境問題解決を望むのか——社会的ジレンマからのアプローチ——”(ナカニシヤ出版)に転載することについて審議し, これを承認した。

Ohnuma, S., Hirose, Y. Karasawa, K., Yorifuji, K. & Sugiura, J. (2005). Why do residents accept a demanding rule? : Fairness and social benefit as determinants of approval for a recycling system. *Japanese Psychological Research*, **47**, 1-11.

大沼 進(2001). 社会的ジレンマ事態において環境変化と他者行動が協力行動や解決策選考に及ぼす効果 心理学研究, **72**, 369-377.

(2)株式会社図書文化社より願出のあった下記 2 論文を, 相川充・佐藤正二編“実践! ソーシャルスキル教育 中学校編——対人関係能力を育てる授業の最前線——”に転載することについて審議し, これを承認した。

岡安・嶋田・坂野(1993) 中学生におけるソーシャルサポートの学校ストレス軽減効果 日本心理学会第 57 回大会発表論文集, 597.

嶋田・神村・宇津木・安藤 中学生用攻撃性質問紙(HAQS)の作成(2)——因子の妥当性, 信頼性, 因子間相関, 性差の検討—— 日本心理学会第 62 回大会発表論文集, 931.

## 9. その他

### (1)将来構想検討委員会について

小川総務担当常務理事より、将来構想検討委員会を特別委員会にすることが提案された。審議の結果これを了承し、今後の常務理事会で規程等について審議していくこととした。

### (2)研究集会等助成について

小川総務担当常務理事より、研究集会等助成審査委員会で行われている研究集会等助成に関する審査状況について報告がなされた。審議の結果、研究集会等助成に関する審査基準について承認した。

## 社団法人日本心理学会平成 18 年度 10 月常務理事会 議事録

日 時 平成 18 年 10 月 21 日(土)13 時－18 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長, 木村 裕, 小嶋祥三, 小川俊樹, 岡市廣成,

高木 修各常務理事

箱田裕司第 70 回大会委員長

(事務局長:久野洋子, 事務局員:仮澤 亮, 坂田須美子, 鈴木厚子)

議 長 織田正美(理事長)

常務理事会開会に先がけて, 織田理事長より, 名誉会員の戸田正直氏・花沢成一氏が逝去されたことが報告され, 哀悼の意を表した。

### I. 議事録の確認

前回の常務理事会(9 月 23 日開催)の議事録を一部修正の上, 承認した。

### II. 報告事項

#### 1. 事務報告

##### (1)会員異動

事務局長より, 9 月 1 日－9 月 30 日の会員異動状況について, 新入会員 5 名, 希望退会者 2 名および逝去者 4 名があり, 9 月 30 日現在の会員数(賛助会員を除く)は 7200 名であるとの報告があった。

#### 2. 委員会報告

##### (1)心理学ワールド編集委員会

織田理事長より, 9 月 24 日開催の心理学ワールド編集委員会について報告があり, 37 号(2007 年 4 月発行予定)の企画案について説明がなされた。

## (2)総務・財務委員会

小川総務担当常務理事より、10月2日開催の総務・財務委員会について以下のような報告がなされた。まず役員の会議等の出席に係る旅費規程案について説明があり、12月の常務理事会にて規程案を提出し、3月の理事会にて議案として諮ることとした。次に岡市財務担当常務理事より、機関誌編集業務の電子化に伴う業者選定に関する総務・財務委員会での審議について報告された。引き続き高木編集担当常務理事より、編集電子化ワーキンググループの提案についての編集委員会の検討結果および業者による相見積もりの比較対照表に基づく説明がなされ、今後さらに総務・財務委員会で検討することとした。

## 3. その他

### (1)日本心理学会創立 80 周年記念講演・式典について

織田理事長より、10月1日に開催された日本心理学会創立 80 周年記念講演・式典について報告がなされた。

### (2)事務局分室借入について

久野事務局長より、事務局分室借入の状況について説明があり、11月初旬に分室の借入契約を行うことが報告された。

### (3)事務局 PC 入れ換えについて

久野事務局長より、事務局パーソナルコンピュータ入れ換えの進行状況について説明がなされた。

### (4)第 71 回大会について

小川総務担当常務理事より、小川常務理事、小嶋広報担当常務理事、第 71 回大会開催校である東洋大学の 大島 尚氏と、大会参加管理システムを担当する業者が出席し、10月17日に次年度の第 71 回大会について話し合いが行われたことが報告された。

### (5)会費について

岡市総務担当常務理事より、学部卒業後 5 年以内の会員で、学部に再入学した会員より、会費の割引の件について問い合わせがあったことが報告された。本件について、総務・財務委員会では規程に基づき割引を認めないと判断したことが説明され、これを了承した。なお、今後会費についての規程を見直すこととした。

### Ⅲ. 審議事項

#### 1. 入会審査

新規申請のあった34件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者31名の入会を一括承認し、残る3件について資料に基づき個別審査の結果、2(2)に該当すると判断した1名、2(4)に該当すると判断した1名を入会可とした。

#### 2. 第70回大会の件

箱田裕司第70回大会委員長より、日本心理学会第70回大会の準備状況について報告がなされた。

#### 3. 第70回大会・会員集会の件

小川総務担当常務理事より、第70回大会にて行われる会員集会について説明があり、進行と役割分担に関して説明がなされた。

#### 4. 理事会(11月2日)式次第の件

織田理事長より、理事会の審議事項・報告事項について説明がなされ、これを承認した。

#### 5. 終身会員承認の件

久野事務局長より、終身会員候補者として4名が示され、これを承認した。

#### 6. 国際学会参加者への旅費支給の件

小嶋国際担当常務理事より、国際学会参加者への旅費支給の規程案について説明がなされた。審議の結果、内容を修正した上で、次回以降の常務理事会で再度諮ることとした。

#### 7. 職員の就業時間等に関する内規の件

小川総務担当常務理事より、職員の就業時間等に関する内規案について説明がなされた。審議の結果、一部文言修正の上、これを承認した。なお織田理事長より、事務局の勤務体制(残業・代休の取り方、仕事のスケジュールリングなど)を厳しくするように要望があった。

#### 8. 平成19年度科学研究費補助金(文部科学省・日本学術振興会)の件

久野事務局長より、文部科学省および日本学術振興会の、それぞれの平成19年度科学研究費補助金について説明がなされた。なお、学術定期刊行物への補助について、補助対象学術誌の排除条件が変更になり、この変更の重大性認識における問題の解決と変更への対応策を検討することとした。

#### 9. 研究集会等助成の件

小川総務担当常務理事より、研究集会等助成の第1回審査について報告がなされた。また第2回研究集会等助成の申込状況について説明がなされた。第2回審査については、研究集会等助成委員会に一任することとした。

#### 10. 将来構想検討委員会の件

小川総務担当常務理事より、将来構想検討委員会を特別委員会化することが提案された。審議の結果これを承認し、規程案について今後検討していくこととした。また第70回大会後に第2回委員会を開催することとした。

#### 11. 教育プロジェクト委員会の件

小川総務担当常務理事より、教育プロジェクト委員会の状況について説明がなされた。これについて、第70回大会後に第2回委員会を開催することとした。

#### 12. 倫理委員会人事の件

岡市倫理担当常務理事(委員会委員長)より、倫理委員会委員の人事について説明がなされた。審議の結果、次回以降の常務理事会で、各領域ごとに委員を推薦することとした。

#### 13. 広報委員会・情報化委員会人事の件

小嶋広報・情報化担当常務理事(委員会委員長)より、第72回大会開催校である北海道大学からの担当委員として、阿部純一第72回大会委員長に、情報化委員会委員として瀧川哲夫氏、広報委員会委員として和田博美氏の推薦を依頼したことが報告され、これを了承した。

## 社団法人日本心理学会平成 18 年度 11 月常務理事会 議事録

会 場 ソラリア西鉄ホテル 7F “アイリス”

出席者 織田正美理事長，木村 裕，小嶋祥三，小川俊樹，岡市廣成，

日 時 平成 18 年 11 月 2 日（土）14 時－16 時

高木 修各常務理事

（事務局長：久野洋子，事務局員：仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子）

議 長 織田正美（理事長）

### I. 議事録の確認

前回の常務理事会（10 月 21 日開催）の議事録を一部修正の上，承認した。

### II. 報告事項

#### 1. 委員会報告

##### (1) 認定委員会

木村認定担当常務理事より，10 月 28 日開催の認定委員会につき説明がなされた。

#### 2. 理事長報告

織田理事長より下記のことが報告された。

##### (1) 日本心理学諸学会連合

資格制度検討委員会ワーキンググループにて，日本心理学諸学会連合が目指す包括的資格制度への検討が進められていることが報告された。

##### (2) 心理職の国資格化について

国会議員の世話人会（10 月 26 日）にて，鴨下一郎衆議院議員より，二資格一法案の制定に向け，今国会上程を目指して関係各位の調整を図っている旨の説明がなされたことが報告された。また日本精神科病院協会より，“臨床心理士”の名称を“社会心理士”とすること，“医療心理師”と“社会心理士”の資格の所掌分野と対象を明確に区分することなどの要望が出されたことが報告された。

#### 3. その他

##### (1) 日本心理学諸学会連合アンケートについて

織田理事長より，日本心理学諸学会連合から連合の事務局体制に関するアンケートが送付されてきたことが報告された。

(2)心理学研究掲載論文について

小川総務担当理事より、心理学研究掲載論文について報告された。

(3)日本学術振興会説明会について

久野事務局長より、11月6日(月)14時より日本学術振興会の科学研究費に関する説明会が再度行われることが報告された。

### Ⅲ. 審議事項

#### 1. 入会審査

新規申請のあった28件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者26名の入会を一括承認し、残る2件について資料に基づき個別審査の結果、2(4)に該当すると判断した2名を入会可とした。

#### 2. 理事会の役割分担の件

織田理事長より標記の件につき説明があり、理事会の役割分担について審議した。

#### 3. 第70回大会・会員集会の件

小川総務担当常務理事より標記の件につき説明があり、会員集会の次第と役割分担について審議した。

#### 4. 認定心理士資格認定の基準改定の件

木村認定担当常務理事より認定心理士資格認定の基準改定について説明がなされた。

#### 5. 認定心理士資格認定事業の移譲の件

織田理事長より認定心理士資格認定事業の移譲について説明がなされた。審議の結果、過去の議事録を参照し、これまでの協議の経緯をふまえて今後も検討を進めていくことを確認した。

#### 6. 第70回大会・国資格シンポジウムの件

織田理事長より標記の件につき説明があり、心理職の国資格化シンポジウム(11月4日)の内容と進め方について審議した。

#### 7. 協賛依頼の件

久野事務局長より、下記の協賛依頼があったことが報告され、これを承認した。

##### (1)モバイル学会シンポジウム“モバイル2007”協賛依頼

(シンポジウム大会長：川野常夫(摂南大学)、学会長：田村 博(田村ヒューマンインタフェース研究所))



## 社団法人日本心理学会 平成 18 年度 12 月 常務理事会 議事録

### 1. 事務報告

#### (1) 会員異動

久野事務局長より、11 月 1 日－11 月 30 日の会員異動状況について、新入会員 25 名、希望退会者 2 名があり、11 月 30 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7,237 名であるとの報告

日 時 平成 18 年 12 月 23 日（土）11 時—18 時

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長、木村 裕、小嶋祥三、小川俊樹、岡市廣成、  
高木 修各常務理事

（事務局長：久野洋子、事務局員：仮澤 亮、坂田須美子、鈴木厚子）

議 長 織田正美（理事長）

### I. 議事録の確認

前回の常務理事会および理事会（11 月 3 日開催）の議事録を一部修正の上、承認した。

### II. 報告事項

があった。

#### 2. 委員会報告

##### (1) 編集委員会

高木編集担当常務理事より、11 月 18 日開催の編集委員会および 11 月 5 日開催の編集電子化ワーキンググループについて報告された。

##### (2) 認定委員会

木村認定担当常務理事より、12 月 16 日開催の認定委員会について報告された。また認定委員会委員の任期について説明があり、次回以降の常務理事会で再度審議することとなった。

##### (3) 研究集会等助成審査委員会報告

小川総務担当常務理事より、研究集会等助成審査委員会における研究集会等助成金申請の第 2 回審査について報告された。申請は 2 件で、いずれも認められた。

#### (4) 総務・財務委員会報告

小川総務担当常務理事より、12月23日開催の総務・財務委員会について報告され、会員管理システム構築等を依頼する業者の選定について報告された。なお、本システムの編集電子化システムとの連動に関して質問と意見があった。

### 3. 理事長報告

織田理事長より下記のことが報告された。

#### (1) 心理学専門職の国資格化について

11月25日に日本心理学諸学会連合（以下、日心連）、医療心理師国家資格制度推進協議会、臨床心理職国家資格推進連絡協議会の代表者会議が開催されたことが報告された。また日本精神科病院協会（以下、日精協）より出されている、二資格一法案に対する要望について、日精協に会談の開催を要請することが報告された。

#### (2) 日本心理学諸学会連合について

12月24日に開催される日心連の理事会において、心理学検定の実施について審議が行われることが報告された。

#### (3) 日本認定心理士会について

1月13日に日本認定心理士会理事会・総会が開催されることが報告された。

### 4. その他

#### (1) 認定心理士対象のアンケート結果について

木村認定担当常務理事より、認定心理士を対象に実施したアンケート（2006年4月10日締切）の結果について報告された。

#### (2) 日本学術振興会科学研究費について

久野事務局長より、日本学術振興会平成19年度科学研究費の申請を行ったことが報告された。また科学研究費補助金による“研究成果公開促進費”を受ける際に、競争入札を行うことが義務付けられたことについて説明があった。

#### (3) 大学評価・学位授与機構への専門委員候補者の推薦について

久野事務局長より、大学評価・学位授与機構から専門委員候補者を推薦してほしい旨の依頼があり、理事長・常務理事の持ち回りで審議をし、6名を推薦したことが報告された。

### Ⅲ. 審議事項

#### 1. 入会審査

新規申請のあった 19 件のうち、正会員入会審査規 2(1)に該当する者 17 名の入会を一括承認し、残る 2 件について資料に基づき個別審査の結果、2(2)に該当すると判断した 1 名、2(4)に該当すると判断した 1 名の計 2 名を入会可とした。

#### 2. 認定心理士資格認定事業移譲の件

織田理事長より、配布資料に基づき、日心連への認定心理士資格認定事業移譲問題にかかわるこれまでの経緯について説明がなされた。こうした過去の経緯をふまえ、今後の協議の方針を検討していくことを確認した上で審議がなされた。その結果、今後日心連との協議を通して、6 月の日本心理学会理事会・総会に移譲問題を諮ることを目指して、検討を続けていくこととなった。

#### 3. “認定手引き改訂についてのアンケート（理事向け）”の件

木村認定担当常務理事より、理事を対象とする認定心理士資格認定の手引き改訂に関するアンケートについて説明がなされ、一部修正の上これを承認した。

#### 4. 国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規の件

小嶋国際担当常務理事より、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規について説明がなされ、継続審議となった。

#### 5. 倫理委員会人事の件

岡市倫理担当常務理事より、倫理委員会委員の候補者として、第Ⅰ—Ⅴ部門より各 1 名、計 5 名が推薦され、これを承認した。

#### 6. 転載許可依頼

(1)サイエンス社より願出のあった下記論文を、桜井茂男・松井豊編集“心理測定尺度集第 4 巻”（サイエンス社）に転載することについて審議し、これを承認した。

曾我祥子(1999). 小学生用五因子性格検査 (FFPC) の標準化 心理学研究, 70, 346-351.

## 社団法人日本心理学会 平成 18 年度 1 月 常務理事会 議事録

会 場 ホテル機山館会議室

出席者 織田正美理事長，木村 裕，小嶋祥三，小川俊樹，岡市廣成，

高木 修各常務理事

齊藤栄太郎公認会計士

(事務局長：久野洋子，事務局員：仮澤 亮，坂田須美子，鈴木厚子)

議 長 織田正美 (理事長)

### I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (1 日 時 平成 19 年 1 月 27 日 (土) 13 時—17 時

2 月 23 日開催) の議事録を承認した。

### II. 報告事項

#### 1. 事務報告

##### (1) 会員異動

久野事務局長より，12 月 1 日—12 月 31 日の会員異動状況について，新入会員 18 名，希望退会者 5 名，逝去者 2 名があり，12 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7248 名であるとの報告があった。

#### 2. 委員会報告

##### (1) 編集委員会

高木編集担当常務理事より，1 月 13 日開催の編集委員会および 1 月 6 日開催の編集電子化ワーキンググループについて報告された。

##### (2) 心理学ワールド編集委員会報告

織田理事長より，“心理学ワールド” 第 38 号の企画につき報告された。

##### (3) 総務・財務委員会報告

小川総務担当常務理事より，12 月 23 日開催の総務・財務委員会について報告され，会員管理システム構築等を依頼する候補業者の見積り書と，見積りの比較対照表について報告された。

### 3. 理事長報告

織田理事長より下記のことが報告された。

#### (1)心理学専門職の国資格化について

1月17日に、日本心理学諸学会連合（以下、日心連）と日本精神科病院協会のそれぞれの代表者による会談が行われたことが報告された。

#### (2)“心理学界の男女差別を撤廃する会”からの要望書について

2006年12月3日に“心理学界の男女差別を撤廃する会”より男女差別撤廃に関する要望書が出されたことが報告された。要望書に対する回答は、織田理事長に一任された。

#### (3)心理学検定について

12月24日に開催された日本心理学諸学会連合理事会にて、心理学検定事業を2008年度より実施すること、および規程案が承認されたことが報告された。

### 4. その他

#### (1)財務報告

齊藤栄太郎公認会計士より、2006年12月次収支について報告された。

#### (2)分室について

久野事務局長より、分室開室に向けての準備状況について報告された。

#### (3)大会論文集の公開について

小嶋広報・情報化担当常務理事より、大会論文集をホームページにて公開する案について報告された。現在は、広報委員会・情報化委員会で著作権問題について議論が進められており、2月の常務理事会で審議されることが説明された。本件については、“心理学研究”の著作権委譲の件と併せて理事会に報告する必要があるという意見が出された。

#### (4)認定心理士申請書類の留意事項について

木村認定担当常務理事より、認定心理士資格申請書類に添付している“認定心理士申請書類の留意事項”の改訂版について説明がなされた。

## Ⅲ. 審議事項

### 1. 入会審査

新規申請のあった149件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者144名の入会を一括承認し、残る5件について資料に基づき個別審査の結果、2(4)に該当すると判断した3名を入会可とし、2名を保留とした。

## 2. 国際賞規程（内規）の件

小嶋国際担当常務理事より、配布資料に基づき、2007年度の国際賞基本方針・応募要領・応募様式等について説明がなされた。審議の結果、これを承認した。

## 3. 国際賞選考委員会委員の補充の件

小嶋国際担当常務理事より、山口勸国際賞選考委員会委員が委員を辞退したことが報告された。補充の委員として北海道大学の亀田達也氏が推薦され、これを承認した。

## 4. 国際学会出席への支援補助に関する内規の件

小嶋国際担当常務理事より、配布資料に基づき、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規について説明がなされ、継続審議となった。

## 5. 認定心理士資格認定事業移譲の件

織田理事長より、1月14日に開催された日本心理学会と日心連との認定心理士資格認定事業移譲に関する第4回協議について説明がなされ、第5回協議に向けて意見が出された。

## 6. 国内旅費規程の件

小川総務担当常務理事より、配布資料に基づき、国内旅費規程について説明がなされた。審議の結果、一部修正の上これを承認し、次回理事会に諮ることとした。

## 7. 会員名簿の発送について

小川総務担当常務理事より、会員名簿の発送について、発送委託業者のミスによって、“所属”宛に送付した会員の宛名に手違いがあったことが報告された。事後処理として、書類送付先を“所属”とする会員にお詫びの文書を送り、問い合わせのあった分については名簿を再送するなどの手配を行ったことが説明された。会員名簿は代議員選挙の選挙台帳となっているが、このことによる選挙期間の延長は行わないことにした。

## 8. 理事会議題の件（2007年3月10日）

織田理事長より、配布資料に基づき標記の件について説明がなされ、次回理事会の議題について審議がなされた。

## 9. 協賛依頼の件

(1)和久屋寛氏（佐賀大学助教授）より願出のあった“第3回人工頭脳工学シンポジウム（BCES'07）”（実行委員長・野口義夫佐賀大学教授）の協賛依頼について審議し、これを承認した。

## 10. 転載依頼の件

(1) “編集室なるにあ”より願出のあった、同社のホームページに日本心理学会へのリンクを張ること、および“心理学研究”の表紙画像を掲載することについて審議し、これを承認した。

(2) ナツメ社より願出のあった、“スーパー図解雑学心理学入門”に日本心理学会の名称と連絡先を掲載することについて審議し、これを承認した。

(3) 奈良教育大学学術情報研究センターより願出のあった下記論文を、“奈良教育大学学術リポジトリ”に掲載することについて審議し、これを承認した。

豊田弘司(1993). 情報の生成が語の偶発記憶に及ぼす効果 心理学研究, **64**, 55  
-58.

## 社団法人日本心理学会 平成 18 年度 2 月 常務理事会 議事録

日 時 平成 19 年 2 月 24 日 (土) 13 時—17 時

会 場 学士会分館 1 号室

出席者 織田正美理事長, 木村 裕, 小嶋祥三, 小川俊樹, 岡市廣成,  
高木 修各常務理事

(事務局長: 久野洋子, 事務局員: 仮澤 亮, 坂田須美子, 鈴木厚子)

議 長 織田正美 (理事長)

### I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (1 月 27 日開催) の議事録を承認した。

### II. 報告事項

#### 1. 事務報告

##### (1) 会員異動

久野事務局長より, 1 月 1 日—1 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員 50 名, 希望退会者 8 名, 逝去者 2 名があり, 1 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7288 名であるとの報告があった。

#### 2. 委員会報告

##### (1) 認定委員会

木村認定担当常務理事 (委員会委員長) より, 2 月 19 日開催の認定委員会について報告があった。また, “日本心理学会認定心理士資格申請の手引き” 改正に関する理事宛のアンケート結果について説明がなされた。

##### (2) 総務・財務委員会報告

小川総務担当常務理事より, 2 月 24 日開催の総務・財務委員会について報告があった。

#### 3. 理事長報告

織田理事長より下記のことが報告された。

##### (1) 日本心理学諸学会連合報告

###### (a) 心理学検定について

日本心理学諸学会連合 (以下, 日心連) より, 心理学検定の “運営資金の調達と返済に関する細則 (表現修正案)” についてアンケートが送られてきたことが報告された。



(b) 認定心理士資格認定事業の移譲について

織田理事長に代わり、小川総務担当常務理事より、2月12日に日心連との第5回認定心理士資格認定事業の移譲に関わる協議会が開催されたことが報告された。

(2) “心理学界の男女差別を撤廃する会”からの要望書への回答について

2006年12月3日に“心理学界の男女差別を撤廃する会”より出された男女差別撤廃に関する要望書に対して、織田理事長より回答書が送られたことが報告された。

4. その他

(1) 代議員選挙について

小川総務担当常務理事より、2月10日に開催された代議員選挙の開票について報告された。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった64件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者61名の入会を一括承認し、残る3件について資料に基づき個別審査の結果、2(1)に該当すると判断した2名、2(4)に該当すると判断した1名を入会可とした。また以前の常務理事会にて不可とされた1名および保留とされた1名について、新たに付加された情報をもとに再審査を行い、1名を入会可とした。

2. 平成19年度事業計画書(案)の件

小川総務担当常務理事より、配布資料に基づき、日本心理学会の平成19年度事業計画書(案)について説明があり、一部修正の上これを承認した。

3. 平成19年度予算(案)の件

岡市財務担当常務理事より、配布資料に基づき、日本心理学会の平成19年度予算(案)について説明があり、一部修正の上これを承認した。

4. 認定心理士諸規程改訂の件

木村認定担当常務理事より、配布資料に基づき認定心理士諸規程について説明があり、一部修正の上これを承認した。

5. 国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規の件

小嶋国際担当常務理事より、配布資料に基づき、国際学会、国際会議参加者への旅費支給、補助等に関する内規について説明があり、一部修正の上これを承認した。

## 6. 総務・財務委員会規程の件

小川総務担当常務理事より、配布資料に基づき総務・財務委員会規程について説明があり、一部修正の上これを承認した。

## 7. 国内旅費規程の件

小川総務担当常務理事より、配布資料に基づき国内旅費規程について説明があり、一部修正の上これを承認した。

## 8. 終身会員承認の件

久野事務局長より、終身会員候補者として6名が提案され、これを承認した。

## 9. 論文著作権の件

### (1) “心理学研究” “Japanese Psychological Research” について

高木編集担当常務理事より、配布資料に基づき“心理学研究” “Japanese Psychological Research” の論文著作権の委譲について説明がなされた。審議の結果、著作権譲渡に関する論文著者への依頼内容について了承した。ただし内容については、弁護士に相談し、また理事会にて理事の意見を聴取することにした。

### (2) 大会論文集のホームページ公開について

小嶋情報化担当常務理事より、大会論文集をホームページ上で公開することについて説明がなされた。審議の結果、会員・認定心理士会会員を対象に論文集の公開をすることとし、これについて、理事会で理事の意見を聴取することとした。

## 10. 理事会の議案書及び報告事項、役割分担の件

織田理事長より、配布資料に基づき理事会の議案書・報告事項について説明がなされ、これを承認した。また、理事会における常務理事の役割分担について審議した。

## 11. 転載依頼の件

(1) 永井書店より願出のあった“睡眠を学ぶ人のために——専門医の伝える実践睡眠医学——”掲載の論文に、下記論文の一部を引用・掲載することについて審議し、これを承認した。

石原金由・宮下彰夫・犬上 牧・福田一彦・山崎勝男・宮田 洋(1986). 日本語

版朝型-夜型(Morningness-Eveningness)質問紙による調査結果 心理学研究,

57, 87-91.

(2) 富山房インターナショナルより願出のあった“美と感性の心理学——ゲシュタルト知覚の新しい地平——”(日本大学文理学部叢書 6)に、下記記事の一部を引用・掲載することについて審議し、これを承認した。

野口 薫(2004). 知覚心理学と視覚芸術 心理学ワールド, 24, 5 - 8.

(3) 培風館より願出のあった石原治編“心理学基礎実験と質問紙法”に、“日本心理学会 執筆・投稿の手びき 2005 年度改訂版”の一部を引用・掲載することについて審議し、これを承認した。

## 12. その他

### (1) 第 73 回大会主催校について

織田理事長より、2009 年度の日本心理学会第 73 回大会の主催校を次回総会に諮ることが説明され、これを承認した。具体的な主催校については、継続審議となった。

## 社団法人日本心理学会 平成 18 年度 3 月常務理事会 議事録

日 時 平成 19 年 3 月 10 日 (土) 11 時～14 時

会 場 学士会分館 1 号室

出席者 織田正美理事長, 木村 裕, 小嶋祥三, 小川俊樹, 岡市廣成,  
高木 修各常務理事

(事務局長: 久野洋子, 事務局員: 仮澤 亮, 坂田須美子, 鈴木厚子)

議 長 織田正美 (理事長)

### I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (2 月 24 日開催) の議事録を承認した。

### II. 報告事項

#### 1. 事務報告

##### (1) 会員異動

久野事務局長より, 2 月 1 日-2 月 28 日の会員異動状況について, 新入会員 97 名, 希望退会者 192 名, 逝去者 3 名があり, 2 月 28 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7190 名であるとの報告があった

#### 2. 委員会報告

##### (1) 編集委員会報告

高木編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 3 月 3 日開催の編集委員会について報告があった。

#### 3. その他

##### (1) 分室・事務局 PC 入れ換えについて

久野事務局長より, 分室の準備状況について報告があった。なお, 事務局の PC の入れ換えについては 4 月頃に新規システムを立ち上げ, 現行システムと平行稼動を行い, 分室の正式な開室を 5 月頃に予定しているとの報告があった。

### Ⅲ. 審議事項

#### 1. 入会審査

新規申請のあった 6 件のうち、正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 2 名の入会を一括承認し、残る 4 件について資料に基づき個別審査の結果、2(1)に該当すると判断した 1 名、2(4)に該当すると判断した 2 名を入会可とし、1 名を否とした。

#### 2. 理事会の議題及び役割分担の件

織田理事長より、理事会の議題について説明があり、会議の進行と常務理事の役割分担について確認をした。

#### 3. 認定委員会委員の任期の件

木村認定担当常務理事（委員会委員長）より、認定委員会委員の任期について説明があり、次回常務理事会に任期の確定案を木村常務理事から提出してもらうこととなった。なお織田理事長より、すべての委員会の委員の任期は規程に従うこと、および委任状に任期を明記することの再確認がなされた。

#### 4. 優秀論文賞選考委員会委員の件

高木編集担当常務理事より、2007 年度の優秀論文賞選考委員会委員の人事について説明がなされた。審議の結果、任期が終了となる理事・代議員より選出の 3 名と編集委員会より選出の 2 名の委員の代わりに、新たにそれぞれ 3 名と 2 名の委員の委嘱を承認した。

#### 5. 社団法人 日本心理学会賃金規則改正の件

総務・財務委員会より、現行の賃金規則を見直し、人事院勧告に沿った内容とすることを規程に記載することが提案され、賃金規則の改正を行うことが了承された。

#### 6. 認定心理士資格認定事業移譲の件

織田理事長より、日本心理学諸学会連合への認定心理士資格認定事業移譲問題について、手続き上の問題を考慮すると、今後のスケジュールを検討する必要がある旨の説明があり、継続審議となった。

#### 7. 第 73 回大会（2009 年度）主催校の件

織田理事長より、配布資料に基づき 2009 年度の日本心理学会第 73 回大会主催校の件について説明があり、継続審議となった。

8. 転載依頼の件（資料席上回覧）

(1)金沢大学より願出のあった“金沢大学学術情報リポジトリ KURA”に、下記論文を掲載することについて審議し、これを承認した。

木村允彦（1972）. 触運動による組み合わせ図形の知覚心理学研究, **43**, 1-12.

(2)名古屋大学より願出のあった“名古屋大学機関リポジトリ”に、下記論文を掲載することについて審議し、これを承認した。

宗宮 保（1976）. 図形性の強さの同調的振動によるゲシュタルト法則の統一的説明 日本心理学会第40回大会発表論文集, 449-450.